



9月号

編集・発行
熊日多良木販売センター
(代)小出忠紹
尾方隆博 石田敏郎
小出堅太郎 岩崎稔
球磨郡多良木町大字多良木356-1
TEL 42-3355
FAX 49-1726
http://www.taragi.com/

多良木町多良木
久我 隆昭さん (79歳)
テルヨさん (70歳)



「あっという間の50年だった。」

隆昭さんは、久我豆腐店の二代目としてこれまで頑張ってきました。

「妻の助けがあったからこそ今までやってこれた、喧嘩もしたが妻には本当に感謝しています。」

今は息子さん夫婦とお孫さん夫婦、三世代で暮らしておられて、来月にはひ孫さんも生まれるそうです。

お二人は一緒に旅行に行くことがなかなか出来なかったので、「今からの楽しみは2人元気で、一緒にどこかに旅行に行ってみたいですね。」と話されました。

地域と共に五十年

野嶋 史さん (75歳)
サチエさん (72歳)
多良木町黒肥地



以前は、数々の賞を受賞される酪農業のスペシャリストだった野嶋さん夫妻。しかし、「牛を飼っていると、盆や正月もないくらい、忙しかった」そうです。「特に牛乳を運ぶのが大変だった」とサチエさん。また、史さんは現在、王宮神社の総代と栖山観音保存委員会の会長も務めておいでです。新道が3年程前に完成しましたが、山道が崩れた時などは、自分達で修繕されたり、同会のみが行っている、三十三観音巡りのバスツアーの企画・運営など、楽しみの中にも、御苦労もあるそうです。ちょうど9月26日まで、秋の一斉開帳が行われますので、是非お立ち寄りください。

苦楽をともに半世紀

第五十回熊日金婚夫婦表彰式が九月十一日あさぎり町ポツポター館、多良木町多目的研修センターで行われました。伊豆英一熊日社長(代理)から祝辞と表彰状、記念品が贈られました。多良木町：三十七組、あさぎり町岡原：十一組が表彰



謝辞をされる土岐さん



あさぎり町岡原北
久保田 繁さん (91歳)
英子さん (84歳)

想い出に残るハワイ旅行

子供、孫に恵まれ幸せ

福岡の八女で山の仕事をされていたが、昭和35年に農業をする為に多良木町に来られたそうです。「多良木に来た時は、妻と子供との3人だったが、今では子供も3人になり孫も13人になった。辛いことや楽しいこともあったが、毎日が充実していました。」

最近、子供さんとお孫さんが金婚のお祝いをしてくれたそうです。

これからの楽しみはと聞いたところ、「2人で身近な旅行に行ってみ



多良木町久米
原田 義磨さん (75歳)
エイ子さん (70歳)

たい、あと孫の結婚式にも参加したい。」と嬉しそうに話されました。

あの頃の私は、務めで忙しい毎日でした。結婚式も狭い8畳間で、所長さん職員多数で賑わってもらい思えば早や50年、早いもので時の間と言うが如し、また泣き笑い50年。苦楽を共にしたのも夢の様、その頃家内は、金物店で忙しい毎日。その後、私は定年退職し、記念に先ず東京タワー、そしてハワイ旅行、これだけは印象に残っています。その後は、区長、地区老人会長、幸野溝監査等々で家にいる事が少ない位一生懸命だった。しかしその当時元気で健康であり、また家内の理解があつての事だと感謝しています。

今二人共どうやら元気で毎日野菜作りにそして温泉を楽しんでいます。(文章：久保田繁さん)



皆が一丸となった多高体育祭



(野球部による素晴らしい演舞です。)

9月6日に多良木高校の体育祭が行われました。今年は内容も充実した体育祭になり、生徒会長の尾前 忠君は、「今年の体育祭は、去年より保護者の方が見に来て頂いてとても嬉しかったです。生徒全員で行うプログラムもあり、みんなと一体感になれたのでとても良かったです。」と話してくれました。

木希記

ちよつと心配した台風十三号、県下は大した被害も及ぼさず海上を東方向へ去つたのは幸いでした。それにしても例年なら九月中旬は次々洗礼を受けるはず。いったいどうしたのです。以前も書いた記憶がありませんが、気象の状況が明らかになりました。進行方向が比較的ゆるくなりしたスピードは八月ごろの夏台風の特徴とされてきました。そんな意味で十三号は夏の特徴を見せたと言つてもよさそう。あくまで素人の判断ですが、日本列島はまだ夏が続いている、という見方だつて間違いないのかも。十月ごろが、月遅れみたい

の大型台風が襲われるのではなにかとの懸念も生じます。過去にも九月末や十月に大きな被害をもたらした例があります。油断大敵、心構えや準備だけは怠りなく季節は正直な一面も見えます。ちょうど秋のお彼岸。待ちかねていたように、色づいた田んぼの黄色がガンバの赤が黄色に、セント田んぼの黄色が、開帳の時期。手近な御



百歳万歳！

多良木町黒肥地
吉村 ツギさん
明治42年3月10日生まれ

お饅頭屋さんに嫁がれましたが、主に農業に従事されていた吉村さん。少し耳が遠くなりましたが友人とのおしゃべりが楽しみだそうです。長生きの秘訣を伺うと、「ゆったりと過ごすのが良い」と教えてくださいました。また、食事も楽しみだそうです。お子さん5人、お孫さんは数えきれない！くらい恵まれたそうです。

尚、熊本善意銀行から多良木町在住の吉瀬敬一さん、吉村ツギさん、野田三作さん、皆越ラクさん、尾中千代茂さんに記念品が贈られました。これからもお元気にお過ごしください。

第7回たらぎ社協福祉まつり

9月7日に多良木町多目的研修センターにて、第7回 たらぎ社協福祉まつり（主催：多良木町社協）が開催され、多くの方々が来場されました。



記念式典として、90歳（卒寿）者への記念品贈呈式があり、同町では47名が対象となりました。

多良木町久米の福屋ミヨコさんは、「昔はこんなことは無かった。皆さんのおかげで、私たちは幸せです」と話されていました。そんな福屋さんの健康の秘訣は、73歳から始めた詩吟。唄を暗記することがボケ

防止に繋がっているとか。

その後の祭典では、えびす民舞会・多良木町青年団による舞踊やマジックショーがあり、大いに会場を沸かせました。またNHKでもお馴染みの、DOYO組が出演。「旅愁」や「小さい秋」から、「崖の上のポニョ」「千の風になって」など懐かしい曲から、流行りの曲まで披露し、その歌声に魅了されました。



ゆっぴー君といっしょに 学んだ安全教室

専立寺保育園
交通安全教室

9月22日、あさぎり町岡原の専立寺保育園（季平聖也園長 園児95名）にて、多良木警察署と交通機動隊松橋分駐隊による、交通ルールの指導がありました。

前半は、道路横断時の左右確認、道路上で遊ばないなど基本的なことから、チャイルドシートの使用や、シートベルトをすることの重要性、また、両親や家族に飲酒運転をしないことを約束させることなどを学びました。後半は「ゆっぴー君」と横断歩道の渡り方を実践。また、憧れの「白バイ」にまたがり記念撮影をするなど有意義な一時を過ごしました。ばら組（年長）の生森瀧也君と久我純平君は「白バイに乗って楽しかった」また、落合麗華ちゃんは「ゆっぴー君に会えてうれしかった」と話していました。指導した多良木警察署交通係長の米村法数警部補は「交通事故に遭わないように、ルールを守って元気に遊んで欲しい」と呼びかけました。



光台寺保育園運動会

9月14日は待ち望んだ運動会です。

年長、年中児のきりん組は、かけっこ、遊戯 幼年消防をがんばりました。

遊戯はE X I L E の銀河

鉄道999とヤングマンを編曲して踊りました。

幼年消防は初めての試み『腕用ポンプ操法』を上球磨消防署の西大輔消防士の指導の元、挑戦しました。緊張しながらも、とてもいい演技ができました。



多良木町黒肥地

右から、長男：犬童 真衣人くん 平成15年3月13日生
3男：犬童 真充人くん 平成20年5月24日生
次男：犬童 真名人くん 平成18年4月26日生
両親：父：犬童 一之さん 母：犬童 華織さん
両親から：兄弟で泣いたり笑ったりと毎日が大変賑やかに過ごしています。これからも兄弟で仲良く元気に育ってね。

まかせてよ21世紀



平成20年度「創立30周年記念くまよう・まつり 球磨養護学校



本校では毎年10月に本校を会場に「くまよう祭」= 10月19日（日）10：00～14：45 = を開催します。生徒の作業製品販売や遊び場コーナーを通して、地域や訪れてくれた人々との交流で楽しい1日になるような祭にしたいと思っています。そのために、児童・生徒は9月から祭に向けての学習に取り組んでいます。小学部は遊び場、中学部は紙すき製品、高等部は窯業製品、フェルト製品、花苗販売に向けて、約6週間の準備を行います。どうぞ球磨養護学校にお越しください。また、10月31日（金）には創立30周年記念式典を実施します。午後には創立30周年記念スマイルコンサート（13：00～14：15）を本校体育館で行います。コンサートは入場無料でどなたでも参加できます。詳しくは学校までお問い合わせください。
（提供：県立球磨養護学校）

